



～歌志内塊勢資金造成ビアパーティー～  
 ▲参加した皆さんは、バンド演奏が始まるとダンスを踊り、最後に豪華景品が当たる抽選会を楽しみました。（2月27日 うたみん）

# まちの様子 広報 topics

※このコーナーは、市内のでき事をご紹介しているコーナーです。広報紙に掲載した写真を無料で差し上げますので、ご希望の方はご連絡ください。  
 ■連絡先 企画財政課企画広報グループ（市役所3階 ☎42～3214）



～北方領土を知る歌志内市民の集い～  
 ▲講演では、現在までの日露関係の経緯などを説明し、北方領土問題への理解を呼びかけました。（3月3日 郷土館）



～家庭で楽しむ空知の食材～  
 ▲鹿肉を使用した料理を紹介し、参加者からは「想像よりくせがなくやわらかくておいしい」と好評でした。（2月25日 チロルの湯）



「出会いの季節」  
 川辺 広子



「それぞれの」  
 澤本 幸子

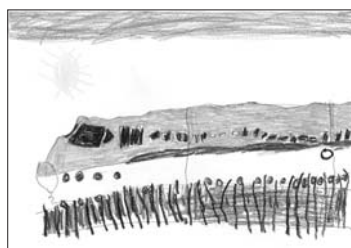
絵手紙

市民の  
 ひろば

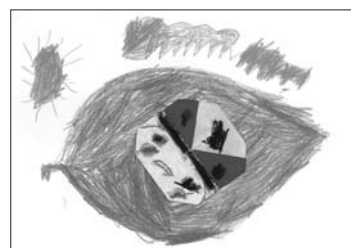


▽札幌市 匿名  
 現金1万円  
 ▽東京都 匿名  
 現金1万円  
 ▽埼玉県 遠山  
 英二さんから  
 現金1万円  
 ▽東京都 浅野  
 三喜男さんから  
 現金1万円

ありがとうございます  
 じぎいす



「しんかんせんにのりたいな」  
 さわだ じん



「てんとうむしみつけたよ」  
 おおつか てった

保育園児作品



～消防記念日～消防署出動訓練  
▲中型バスに乗用車が追突した事故を想定し、けが人の容態の把握や、迅速な救出の訓練を行いました。(3月7日 うたみん)



～ふれあい昼食会～  
▲招待された一人暮らしの皆さんは、手品を交えた講演のあと昼食会を行い、カラオケなどの余興を楽しみました。(3月4日 うたみん)



～ボランティア研修会～  
▲はまなすボランティアと老人クラブ連合会の皆さんは、高齢者に対するボランティアの姿勢などを学びました。(3月15日 うたみん)



～建設協会除雪ボランティア～  
▲建設協会の皆さんにより、大雪により厚くつもった屋根の雪をきれいに落としていただきました。(3月5日 郷土館)

ありがとうございます

**図書館**  
**だより**

☎42～6900

行  
事

■移動どうわ会

▼とき 4月8日(金) 15時

▼ところ 神威児童センター

▼内容 本の読み聞かせ、かみしばい、工作

■移動としよかん

▼とき 4月21日(木)

▼ところ

▼楽生園(14時30分)

▼給食センター(15時45分)

▼市民体育館(16時15分)

※くわしくは図書館まで問い合わせてください。

読んでみませんか?

『赤毛のアンナ』(真保裕一 著)

8歳で母を亡くし、施設に引き取られた少女は「赤毛のアン」が好きで、アンのように振る舞い、周りを明るくする子だった。

それから15年。突然、彼女が男を刺して逮捕されたというニュースが。彼女になががあったのか?かつて彼女に救われた仲間たちが走り始める。

『赤毛のアン』(真保裕一 著)

『新任巡査』(古野まほろ 著)

『家康、江戸を建てる』(門井慶喜 著)

『倒れるときは前のめり』(有川浩 著)

『すごい家事』(松橋周太呂 著)

『やっつけていいこと・悪いこと』(田嶋英子 著)

『ガラブゴス 上・下』(相場英雄 著)

『ガラブゴス 上・下』(相場英雄 著)

自殺に見せかけて殺害されていた1人の男。日本中を転々とする派遣労働者だった彼を殺害した実行犯を追ううちに、刑事は大企業に使い捨てられる派遣労働者の実態と、人材派遣会社の欺瞞を知ること。社会問題に深く切り込む現代ミステリー。

『はだれ雪』(葉室麟 著)

謎の刃傷事件を起こした浅野内匠頭。彼が残した最後の言葉を聞いたという勘解由、幕府・目付役のもとには身分を隠した赤穂浪士たちが訪れ・・・直木賞受賞作の『蝸の記』をはじめ多くの作品で、武士として、人として、真摯に生きる人々の姿を描いてきた著者による、かつてない忠臣蔵です。

『花冷えて』(あさのあつこ 著)

『幹事のアッコちゃん』(柚木麻子 著)

『新任巡査』(古野まほろ 著)

『家康、江戸を建てる』(門井慶喜 著)

『倒れるときは前のめり』(有川浩 著)

『すごい家事』(松橋周太呂 著)

『やっつけていいこと・悪いこと』(田嶋英子 著)

『ガラブゴス 上・下』(相場英雄 著)

自殺に見せかけて殺害されていた1人の男。日本中を転々とする派遣労働者だった彼を殺害した実行犯を追ううちに、刑事は大企業に使い捨てられる派遣労働者の実態と、人材派遣会社の欺瞞を知ること。社会問題に深く切り込む現代ミステリー。

『はだれ雪』(葉室麟 著)

謎の刃傷事件を起こした浅野内匠頭。彼が残した最後の言葉を聞いたという勘解由、幕府・目付役のもとには身分を隠した赤穂浪士たちが訪れ・・・直木賞受賞作の『蝸の記』をはじめ多くの作品で、武士として、人として、真摯に生きる人々の姿を描いてきた著者による、かつてない忠臣蔵です。

『花冷えて』(あさのあつこ 著)

『幹事のアッコちゃん』(柚木麻子 著)

『新任巡査』(古野まほろ 著)

『家康、江戸を建てる』(門井慶喜 著)

『倒れるときは前のめり』(有川浩 著)

『すごい家事』(松橋周太呂 著)

『やっつけていいこと・悪いこと』(田嶋英子 著)

『ガラブゴス 上・下』(相場英雄 著)